

中須川のさくら

みんなで・じもと・じまん

西濃地区らしいお花見の景色。



川に垂れ下がる枝ぶりが見事です。

シーズンは、屋台など多くのお店が出て、特に夜桜見物には多くの人でにぎわいます。付近の公園「キャッスルパーク」では、桜まつりが開催され、太鼓や歌謡などのショーが行われます。

1月下旬から3月下旬は、「安八百梅園」で100種類以上もの梅が楽しめます。それぞれの梅のオーナーが町民であるところがユニークで、地域住民に親しまれています。

このお花見スポットがおもしろいのは、梅と桜の名所が隣接しているところ。もちろん、開花時期はずれるわけですが、散歩道が整備されているので、歩いてひとまわりが可能。訪れるタイミングによっては、遅咲きの梅と桜のコラボレーションが期待できます。



所在地：安八郡安八町中須
お問合せ：安八町役場 産業振興課
TEL：0584-64-3111



安八百梅園

この桜並木は、地域のボランティア「氷取誠心会」の手により、樹木の植樹・剪定・消毒などの手入れや周辺の清掃・除草がなされているもの。

長期にわたる地道な活動は、町内関係者のみならず、高い評価を受けています。平成14年、岐阜県知事より感謝状(環境美化功労者表彰)が贈られています。

川の流れとともに

春、のどかな平野地帯の安八町に流れる中須川両岸には、千本ともいわれる桜が、帯を薄桃色に染め上げます。その全長は約2～3km。川沿いに延々と続く桜は枝ぶりも見事で、西濃地方らしいお花見風景を満喫できます。開花



エコツアー

エコムつうしん 40号 -3月号-

40

湿地 ウェットランドー

- ここが知りたい！エコムちゃん
「藤前干潟」(愛知県)
- みんなで・じもと・じまん「中須川のさくら」

「エコツアー」は、地域から地球まで、持続可能な社会を考えるコミュニティペーパーです。



エコムちゃん

エコツアー 40

平成27年3月発行

発行：エコムカワムラ株式会社 岐阜県安八郡輪之内町里85番地の3

TEL 0584-68-2033 (代)

制作：Ishii Design TEL&FAX：042-973-4004 mail@ishii-design.info

※表紙のイラストは「廃材」を使用しています。今月は「銅線」で「チューリップ」をつくりました。

《再生紙を使用》



ここが知りたい!
エコムちゃん

学ぶ

遊ぶ

働く

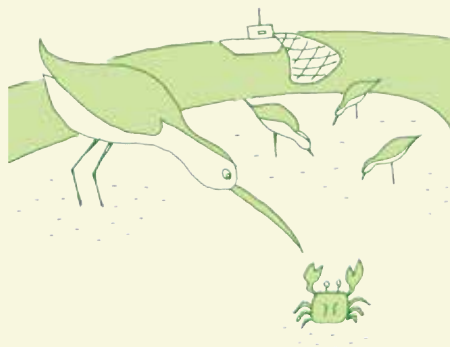
湿地 — ウェットランド —

湿地と聞いて、どう思う？
あまり考えたことないけど、
海や川が近くにあって、
ジメジメしてるところって感じかな。
人間にとっては、不毛の地というイメージもある。

でも、生き物にとっては楽園のような場所らしく、
鳥やサカナ、虫、カニ、貝、ゴカイ、海藻、
サンゴ、プランクトンなど、
たくさんの生き物がそこに暮らしている。

本当は、人間にとっても重要な空間なんだよ。
シンプルに説明するのは難しいけど、
水の供給源として、生物の循環を通して、
湿地はかけがえのない恩恵を
人間に与え続けてくれているらしい。

それなのに、湿地は人間の生活のすぐそばにあるために、
安易に開発され続けてきた。
その歴史を踏まえて、
いま、湿地の大切さが見直されてきているんだ。



ラムサール条約と世界湿地の日

ラムサール条約は、1971年2月2日に
イランのラムサールで締結されまし
た。その日を記念して、毎年2月2日を
「世界湿地の日(WORLD WETLANDS
DAY)」とするよう、1996年に定められ
ました。「世界湿地の日」には、各国の政
府機関やNGO、市民団体が湿地保全
の意義やラムサール条約の内容につ
いて啓発するため、セミナーや子ども
の絵画コンテスト、地域の清掃など
さまざまなイベントが
行われています。



藤前干潟(愛知県)

名古屋港の工場地帯周辺にありながら、
奇跡的に残された日本最大級の渡り鳥渡
来地だよ。干潟には鳥たちの餌となるカニ
やゴカイや小魚がたくさんいて、渡り鳥た
ちの休息と栄養補給の、大切な中継地に
なっているんだ。

藤前干潟にはゴミ埋立計画があったけ
ど、市民の長年の保全活動によって断念
され、そこから名古屋市の画期的なゴミ
減量が進んだんだ。

その価値が認められ、2002年にラムサー
ール条約に登録されたんだよ。

お知らせ

NPO法人 藤前干潟を守る会では、早春の
生きもの観察(3月22日)をはじめ、ヨシの
すだれ作り、海苔の養殖、カモの足形とりな
ど、イベントも盛りだくさん。

お問合せ：TEL 080-5157-2002

(月・第3水曜を除く 9:30~16:00)



今回は「稲永ビジターセンター」に行ってきたよ!
子どもから大人まで、藤前干潟に生息する様々な生き物
について学ぶことができるよ!



稲永ビジターセンター入口。近隣の学
校から子供たちが見学にきます。



貝の展示。貝やカニ、ゴカイは有機物を
食べて水を浄化するよ。



新聞の潮位表を見て、干潟時刻の
1時間前に行くのがオススメ!



野鳥観察館入口前の松の木は、暴風
雨の影響なのか幹が曲がっています。



この時期は、カモやシギなど、多くの
冬鳥が見られました。



あいにくの天候で人もまばら。野鳥
の愛らしい姿にしばし癒されました。